

平成23年度 新精社協【共通研修】

<テーマ> きわみ 支援の～極～

主催:新潟県精神障害者社会復帰施設協議会
<http://www.sinseishakyo.org/>
日時:平成23年11月25日(金)

会場:新潟県自治会館(9階ゆきつばき)
新潟市中央区新光町4番地1
<http://www.sinsogo.jp/jitikaikan/kodo.html>
※駐車場は一日700円です
県庁駐車場は駐車できません。
公共交通機関をご利用下さい。

定員:120名 参加費:500円

<タイムテーブル>

10:00～10:30	受付
10:30～11:15	講義(総論) 「精神障害者福祉の仕事をするための心得」
11:15～12:30	グループワーク① 「日常業務の振り返り」
12:30～13:30	お昼休憩
13:30～14:45	講義(各論) 「私の障害者支援の実際と常におさえておくべきこと」
14:45～16:00	グループワーク② 「研修の気付きと明日からの実践目標」
17:00～19:00	懇親会

(社福)ハートランド理事長 <http://www.heartland-apple.or.jp/>
やました やすひさ

講師: 山下 安寿 先生



「精神障害者というだけで、怖いとか何をするか分からないといった偏見がある。決してそうではないということを発信できればいいですね」。社会福祉法人ハートランド(徳島市籠屋町1-24)の理事長として、同市籠屋町商店街に精神障害者が働く喫茶店「街の中の喫茶店あつぷる」を8年前にオープンさせた。

これまでは、小規模作業所での弁当作りや弁当の宅配、店頭販売が活動の中心だった。喫茶店開店の目的は、障害者が働く姿を大勢の人に見せることで、障害への偏見をなくしてもらうのがひとつ。もうひとつは障害者が集まり、自立に向けた活動の拠点施設にすることという。

精神障害者には「自分が必要とされている」と思ってもらうことが必要だと訴える。中には、弁当作りの作業を通して「こんな私がつ作った弁当を待ってってくれる人がいる」と感動する障害者もいると言い「社会の中で役割を持つことが、自信を取り戻すきっかけになる」と力を込める。

京都市出身。大学卒業後、同市内の知的障害者施設を経て、1989年に板野郡内の病院の精神科でソーシャルワーカーとして20年勤務した。しかし精神障害者と接するうちに、障害者が病院と家庭にしか存在場所がないことに問題意識を感じて退職。「病院と家庭の中間に当たる場所を」とハートランドを発足させ、精神障害者が地域の中で暮らす支援活動を続けている。(徳島新聞より一部抜粋)



精神保健福祉の向上のために

私たちは、新潟県内の精神障がい者社会復帰施設の円滑な運営と、福祉従事者の質向上及び地域精神保健福祉のより一層の充実を図ることを目的として、各種の福祉活動を展開しています。

新潟県精神障害者社会復帰施設協議会



申込み先&お問い合わせ

研修担当:茨内地域生活支援センター(今井・岡部)

TEL/FAX兼用:0257-22-1215 E-mail: ibaranai@tatikawa.or.jp 〒945-1341 柏崎市茨目1260-1

切り取り

新潟県精神障害者社会復帰施設協議会
平成23年度 共通研修

申込書

平成23年 月 日

氏名	所属事業所名	連絡先	懇親会参加
			出席・欠席
			出席・欠席
			出席・欠席
			出席・欠席
			出席・欠席

懇親会は研修会場付近で5,000円の会費を予定しています。是非ご参加ください。

※お申込み〆切:平成23年11月12日(必着)